



福島県労連

2026年8月15日 Vol.312(8月号)

発行／福島県労働組合総連合

〒960-8061 福島市五月町2-5 一番ビル

TEL:024(522)3097 FAX:024(522)3102

Email:fksroren@soleil.ocn.ne.jp

URL:<https://fksroren.org/>

県労連第38回定期大会

安心して暮らし、働き続けるために、戦争をとめよう！賃金の大幅アップを勝ちとろう！いっしょにたたかう仲間を増やそう！



(あいさつする野木茂雄県労連議長)

福島県労連は、8月2日(日)、二本松市で「第38回定期大会」を開催しました(代議員と役員、74人が参加)。

大会では①2025年度活動のまとめ(案)、②2025年度県労連会計・決算の承認、③2026年度運動方針(案)、④2026年度県労連会計・予算(案)、⑤全労連共済福島県支部第15回総会議案の5つの議案が提案され、全会一致で承認されました。

ウクライナやイランなどで続く戦争は、さらなる物価上昇や資材

不足などの形で私たちの暮らしと仕事を直撃しています。今年度は、安心して暮らし、働き続けるために3つの要求の柱(①平和と憲法を守り、「戦争する国づくり」にストップをかけ、憲法をいかす政治への転換、②大幅賃上げ・底上げと、労働法制、労働環境の改善、③地域の公共を再生し、持続可能な地域循環型の経済・社会の確立)と、それらの要求を実現させるためにみんなで強く大きな組織をつくるのが方針として提起され、一人ひとりの「対話と学び合い」を重視してとりくんでいくことを確認しました。

13人が討論に立ち、人手不足や長時間労働など職場のリアルな実態が語られ、また、団体交渉のすすめ方や会議運営の改善で組合員一人ひとりが主体的に活動に参加するなどの変化が生まれ、「問題の早期解決につながっている」「組合への信頼につながっている」などの報告もありました。

大会は、野木茂雄議長など新しい幹事会を選出し閉会しました(下表参照)。

新役員です！

よろしくおねがいします！

議長	野木茂雄(ふくしま一般)
副議長	佐々木伸也(医労連)
同	鈴木修(農協労連)
事務局長	佐藤晃子(ふくしま一般)
同次長	添田雅弥(農協労連)
同	三浦朋喜(生協労連)
同	山田照夫(建交労)
幹事	安斎通(年金者組合)
同	小野浩也(自治労連) 新
同	佐藤啓子(医労連)
同	佐藤美里(福祉保育労) 新
同	佐原成典(二本松地方労連)
同	穴戸清(福島地方労連)
同	杉内清吉(県立高教組)
同	横尾啓一(私教連)
会計監査	大内英明(年金者組合)
同	菊田成司(年金者組合)

今大会をもって、笠原浩さん(副議長・自治労連)、金沢忍さん(幹事・福祉保育労)、

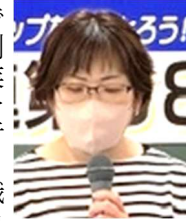
菅野文幸さん(幹事・自治労連)、清水英之さん

(幹事・県国公)が退任となりました。



大幅賃上げ・底上げ実現！働き続けられる職場を！

定期大会の討論では13人が発言し、職場のリアルな実態や、組合員の主体的な参加で組合への強化拡大につながつたとりくみ、平和活動の大切さなどが語られました。発言の要旨を討論順に紹介します。



医労連
室井文恵代議員
日勤終了後や休日などに病棟で副業を行う職員は本来の勤務に加え長時間労働となり、健康確保が大きな課題となっていた。副業の時間外労働を月30時間以内にするよう要求し改善が図られた。副業を行う職員の多くは基本給が低い職員である。副業をしなくても安心して生活を送れるような賃金体系となるよう、これからも活動を進めていきたい。

係省庁への要請行動を今後も継続し、安心して働ける環境づくりを進めていく。



農協労連
遠藤崇資代議員
県内農協ではベースアップの継続で初任給も改善されているが、一般企業との格差は依然として残る。また慢性的な人員不足により始業前勤務や昼休憩が十分確保できない職場も多い。他産業との比較調査を踏まえ職場環境改善に取り組みとともに、定例会議や事務折衝を全単組へ波及させ、整理した課題をもとに交渉を行い、結果を還元するプロセスを継続し安心できる職場を作っていく。



建交労
相澤 稔代議員
トラッドライバーは一般労働者よりも長時間労働を強いられている。休息時間から通勤や食事など生活時間を差し引くと、健康と安全運転を担保できる十分な睡眠時間を確保できていると言えず過労死も深刻だ。こうした長時間労働や低賃金の課題を一朝一夕で解決することは困難だが、関

より160床から114床への病床削減を余儀なくされ、地域医療は深刻な危機にある。派遣医師に



医労連
藤井明美代議員
医師3名の突然の退職に

より160床から114床への病床削減を余儀なくされ、地域医療は深刻な危機にある。派遣医師に



生協労連
佐藤亜沙美代議員
今年春闘では全員で団体交渉を作り上げる意識を共有し、当事者意識を持つことで強固な一体感が生まれ、この経験が個々の成長と組織力強化につながった。現場の実態に基づく要求内容を作成し、その背景や目的の共有、発言者の拡大、事前の十分な準備の積み重ねこそが組織の力となり、自発的に訴える強固な組合作りへつながることを強調したい。

頼る現状があり、国が進める2040年地域医療構想による再編は介護分野にも影響し、必要な医療や介護を受けられない事態を招く危険がある。誰もがいつでも必要な医療や介護を受けられる体制を守るため、地域住民と連携した運動を広げていく。



福祉保育労
大内 凜代議員
福祉保育労では自治体への要望活動を継続しているが、行政からは国へ伝えるとの回答にとどまり現場は改善されていない。今

より160床から114床への病床削減を余儀なくされ、地域医療は深刻な危機にある。派遣医師に



建交労
瀧柳勝彦代議員
違法な白ナンバー（自家用）トラックによる格安運送などの悪質行為を規制するための法改正が、違法ではない工事用ダンプの使用に影響し、現場排除につながる問題が発生した。労組は労働者の実態を訴え、政府交渉で「指揮命令下の雇用関係なら問題ない」旨の回答を引き出し対処してきた。この取り組みを通じ労組の存在意義が再認識され、組合員拡大の機運が高まった。

年は一事業所だけの課題と受け取られないよう全県の保育士対象のアンケートを実施し共通課題として要望を取りまとめた。過酷な現場が変わる回答は得られていないが、幅広い組合員の声を生かし、現場の課題解決を進めていく。



自治労連
小野浩也代議員
二本松市職労では、説明会や若手による丁寧な勧誘活動を進めた結果、競合組合を上回る新規加入者を迎え数十年前の組合員

より160床から114床への病床削減を余儀なくされ、地域医療は深刻な危機にある。派遣医師に

地域の公共の再生、憲法いかす政治への転換を！

増を実現し、春闘では給与格付けの見直し等の要求が実現した。また、公務公共一般の裁判では、当局側の意に沿わない職員の排除や正しい意見を言いにくい組織風土、解雇へのハードルを不当に低く捉え職員育成を軽視する組織のモラルハザードが浮き彫りになった。

年金者組合

大滝史郎代議員



年金引き上げを求める陳情

を受けない自治体が複数存在するが、地元住民限定や紹介議員が必要などの条件付与は憲法第十六条の請願の趣旨に反すると考えている。不合理な運用を行う自治体に個人として議会へ申し入れ、メールを送るなどのアプローチを行ってきたが、今後は県労連としても組織的に意見を届け、制度や運用の改善要望を出していきたい。

会津地方労連

折笠由美子代議員



幹事会前の学習会に参加

型へ見直したことで職場の悩みや課題について活発な議論が生ま

れ、幹事会が活性化した。平和運動では自作のぼりや横断幕を持つ若い世代の参加も広がり、憲法を守る運動への関心と危機感の高まりを実感している。一方で地方労連単独での未加盟組織への働きかけには限界があるため、県労連や産別本部からの強力なバックアップをお願いしたい。

ふくしま一般

堂脇和秀代議員



須賀川市で

開催した「原爆と人間展」「原爆の絵展」では好意的な感想が寄せられ、活動が市民の心に届いていると実感した。また地域の祭りでは自衛隊車両の展示中止を求める取り組みを継続し、今年も展示は見送られた。平和と大行進では新たな市民の参加も得られた。平和は市民一人ひとりの行動によって築かれるという確信のもと、今後も運動を粘り強く継続していく。

郡山地方労連

草野芳明代議員



郡山市の三菱電機工場で

ミサイル共同生産に向けた協議が

進み、労働者が作ったミサイルで他国の人々を殺傷する事態が現実味を帯びている。職場で武器作りを口止めされる労働者も存在する。「平和都市宣言」を掲げる市が黙認してよいのか。事実を共有して問題を訴え、憲法改悪反対運動と結び付けて世論を喚起しながら取り組みを進めていく。

二本松地方労連

柴田敏夫代議員



「平和のつどい」を開催し、

写真展やうたごえ運動のほか、満州からの引き揚げを経験した方をお招きして、戦争体験や地域から戦地へ送られた方々についての話を伺った。また、私が総代を務める寺では、広島・長崎への原爆投下日に平和を祈って鐘を鳴らす取り組みが続いている。来年度は市の後援も得ながら、さらに発展させていきたい。



(団結ガンバローを行う
代議員のみなさん)

祝電・メッセージをお寄せいただいたみなさん(敬称略)

*福島県知事 内堀雅雄

*衆議院議員 金子恵美

*参議院議員 岩渕友

*日本共産党福島県議団 団長 神山悦子

*日本共産党福島県委員会 委員長 町田和史

*社会民主党福島県連合 代表 狩野光昭

*福島県九条の会 共同代表 今野順夫

*福島県保険医協会 理事長 曾根恵児

*新日本婦人の会福島県本部 会長 井上裕子

*福島県民主医療機関連合会 会長 北條徹

*福島県母親連絡会 代表委員 佐藤久美

*日本民主青年同盟福島県委員会 代表委員 井上裕子

*青森県労働組合総連合 議長 逢坂拓

*秋田県労働組合総連合 議長 高野智子

*岩手県労働組合連合会 議長 中野るみ子

*山形県労働組合総連合 議長 荻原圭子



まちがいは7つ



応募のしかた

**正解者5名に
図書カード当たります！**

応募はハガキ（メールも可）に、①クイズの答え、②氏名（ふりがなも）、③住所、④所属労組名、⑤ひとことを必ず（必要な方はペンネームも）書き添えてご応募ください。締め切りは9月15日です。抽選で5名の方に図書カードをプレゼントします。

310号（6月号）の クイズの答えと当選者

答えは①左の傘の模様②真ん中の傘の石突き③右の傘の持ち手④真ん中女性の鞆⑤真ん中男性の鞆の肩紐⑥左の男性の靴⑦左の男性の上着でした。応募者は 名で 名が正解。次の方に図書カードを送ります。

- ◇ミキケンさん こだま交通労組
- ◇すいかさん 福厚労坂下分会
- ◇カビゴンママさん みやぎ生協労組
- ◇だちんさん みやぎ生協労組
- ◇ナマステさん 福島県医労連

自動車共済

割安な共済掛金、補償は充実！
等級別割引・割増の継承ができる！

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

「原発ゼロと住民本位の復興を求める 8.30ふくしま集会」にみんなで参加しよう！

<とき> 8月30日(日)午前10:30～午後3:30

<ところ> 福島市・パルセいいざか

10:30

～

12:00

テーマ別セッション※事前申し込みをおねがいします。

セッション1

2011.3 原発災害 直後の復興計画と、その後15年を経た今

セッション2

再エネ・省エネで原発に依存しない社会へ転換するために

セッション3

全国の運動交流・次世代敬称のひろば

申し込みはこちらから>>>



13:00

～

15:30

全体集会

基調報告

報告者：野木茂雄（ふくしま復興共同センター）

福島からの発信～あのと、それから、今、これから～

住む場所や生業、年齢などの違いによって様々な困難や思いがありました。それぞれの立場から過去・現在・未来を発信します。

つなぐ・つなげる・アピール提案

集会内容の詳細は、こちらをご確認ください。>>



パルセいいざか周辺に自家用車は駐車できません。

臨時駐車場（福島飯坂消防署東隣：福島市飯坂町銀杏6-13地内）をご利用ください。シャトルバスを運行します。

詳しくはこちらから↓

<https://www.no-genpatu.jp/fukushima/index.html>



聞いて聞いて

私の思いみんなの願い

☆みなさん、静かな福島の街
どうかならないですか？

（こだま交通労組

ミキケンさん）

（福厚労鹿島分会

ひまわりさん）

☆今年の夏はそうめんを和・

洋・中・韓のアレンジを楽し

☆今年は夏の高校野球福島

みながら美味しくいたたい

県大会を何度か観に行き

てます。

ました。手に汗握る場面が

（福島県医労連

ナマステさん）

県代表として初出場とな

☆6月末に母が脳出血で救

る東日本国際大昌平の選

急搬送され、緊急手術を

手を今度はテレビで応援し

しましたが、左半身麻痺

たいと思います。

で、毎日が忙しく大変な

大原病院労組

ミヤコワスレさん）